



●「いのち」を大切に、支え合う社会をめざして●

東日本大震災から7ヶ月以上の月日が流れ、被災地には本格的な寒さがやってこようとしています。復旧復興にはまだ長い道のりですが、被災地のこと、被災者避難者の方々にずっと想いを寄せ、自分たちにできる支援を続けていきたいと思えます。

宝塚市議会は、3月に制定した議会基本条例をもとに、市民のみなさまに見える形の議会改革を進めています。これからもご意見をお聞かせくださいますよう、よろしくお願ひいたします。

活動報告～抜粋～

7月 7日 自治功労者総会	8月15日 戦没者追悼式
7月10～ 連合兵庫政策研究会（南あわじ市）	8月20日 民主党男女共同参画推進委員会
11日	8月23日 兵庫県知事との懇話会 子ども議会
7月12日 文教生活常任委員会	9月 9～ 9月定例会市議会
7月16日 阪神政策研究会（たつの市）	10月13日
7月22日 兵庫県市議会議長会（三田）	9月18～ 「地方自治と子ども施策」
7月23日 ゆたかな教育の創造をめざす	19日 全国自治体シンポジウム（泉南市）
兵庫県民会議（神戸）	9月30日 議員総会全員協議会
8月 1日 兵庫県阪神「地域づくり懇話会」（川西）	阪神政策研究会（伊丹）
8月 2日 阪神市議会議長会定例会（尼崎）	10月 8～ 人権教育ひょうご
8月 3～ 両性の自立と平等をめざす	10日 「長崎スタディツアー」
4日 全国研究集会（東京）	

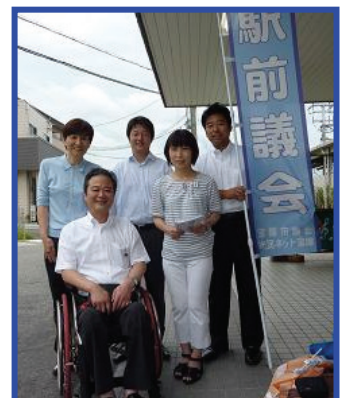


ユニットF宝塚 「駅前議会」

第20回『駅前議会』 7月31日

<テーマ>

1. 3月議会の争点と新年度予算
2. 6月議会報告
3. 議会基本条例と議会改革



市民と議員でまちづくりを語る場として開催してきた『駅前議会』。第20回を迎えた今回も熱いご意見がたくさん出て、大変盛り上がったトークタイムとなりました。厳しいご指摘や質問もありましたが、議論の深まりを今後の政策実現につなげていきたいと思えます。多くのご参加ありがとうございました。（60名）

「ユニットF宝塚」は、これからもチームワークよくがんばってまいりますので、よろしくお願ひいたします。

北野・井上・大河内・寺本・伊福議員

7/25 JR 中山寺駅

議会報告

9月議会（9月9日～10月13日）

主な議案採決結果

- 2011年度一般会計補正予算（可決）
- 市税条例一部改正（可決）
- 市庁舎空調設備改修工事請負契約の締結（可決）
- 宝塚市特別職職員の給与並びに議員報酬の削減及び議員定数の削減を図るための関係条例の整備に関する条例（否決）
- 宝塚市の施設及び市議会議場における国旗の掲揚並びに市の一般職の職員、特別職の職員及び市立学校の教職員による国歌の斉唱に関する条例（否決）
- 教育委員任命（同意）
- 2010年度病院事業会計決算（認定）
- 2010年度水道事業会計決算（認定）
- 2010年度下水道事業会計決算（認定）

請願審査結果

- 沖縄県において明確にされた普天間基地の県内移設反対・撤去の住民意思を尊重し、国の政策立案・実施に反映することを求める意見書の提出及び決議を求める請願（趣旨採択）
- 教育条件整備のための請願（採択）
- 「食材の放射線被爆における学校給食検査体制」について（採択）

文教生活常任委員会行政視察

7月19～20日

- さいたま市誰もが共に暮らすための障害者の権利の擁護等に関する条例～ノーマライゼーション社会の実現に向けて～

<主なポイント>

- 障害を社会福祉の問題として扱うのではなく、社会の障壁と偏見が障害を生み出しているという、人権の問題として障害を捉えている。
 - 障害のある人が街で暮らし、学び、働き、社会を豊かにするような様々な活動に参加することが当たり前の社会を目指す（条例第1条）
 - 障害のある人への差別をなくし、虐待が起こらないようにするため市や市民全体で、それぞれの障害に対する正しい理解を持って取り組む。
 - 障害のある人を支援するときには、障害のある人が自分で決めて選んだことを大切にする。
- ★宝塚でもぜひ実現したい条例です。★



「市民に見える議会改革」

第1回議会報告会

8月7日 議会報告会

西公民館の3階会場いっぱいの約70名の方が参加してくださいました。ありがとうございました。

- 前半は6月議会の報告を各常任委員会から・・・
- 後半は会場からの質問&トークタイム・・・

厳しい財政状況に関わる質問が多かったですね。その他・・・文化創造館の件、救急車の件、原発の件、校区の件・・・等

『厳しいことを言ったが今後も頑張ってもらいたい。』

『勢いのある発言者の雰囲気にも呑まれ遠慮して言いたいことが言えなかったわ・・・』

『よい取り組みですね。』

『うちの市でも議会改革進めていく参考になりました。』

進行や答弁の仕方では色々反省点もありますが、スタートしたばかりの取り組みですから、今後改善しながら良くしていきたいです。

大船渡市から宝塚市へようこそ♪ 8月1日

宝塚市の東日本大震災に係る支援事業の一環として行われることになった「スポーツ交流事業」

今日は、被災した大船渡市の中学生を宝塚市にお招きしました。このスポーツ交流事業は、1日から4日までが第1陣、7～10日までが第2陣。今日来てくれたのは、大船渡市立第一中学校サッカー部と、大船渡中学校バレーボール部のみなさんです。「辛い経験をされたのだろうか・・・」生徒たち、先生たちの姿を見ただけで私は泣けてしまいましたが、「ゆっくり宝塚を楽しんでほしい。笑顔で帰ってくれたらうれしい。子どもたちが元気になれば大人も元気になれる。来てくれてありがとう。」と歓迎の挨拶をしました。宝塚市国際観光協会からは、岡崎選手のユニホームをオークションにかけ、その費用で大船渡市の中学校に48個のサッカーボールが贈られました。また、JR宝塚駅の駅長さんから職員のみなさんの寄せ書きと携帯ストラップが贈られました。さらに、末広小学校の児童会の子どもたちは自分達が集めた義援金を手渡してくれました。今日ここで、大船渡の中学生と出会えてほんとはよかったです。引率の先生たちとも少しお話でき『決して無理せず・・・でも、子どもたちのためにがんばってください。』

心から応援しています。』とお伝えしました。



8月9～10日

阪神市議会議長会研修会

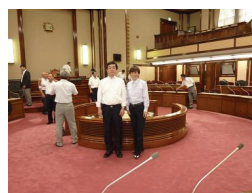
神戸、尼崎、西宮、芦屋、伊丹、川西、三田、丹波、篠山、宝塚の10市議会が「阪神市議会議長会」として活動。毎年1回の視察研修は、名古屋市でした。

＜調査事項＞

●東海地震に備えた防災の取り組みについてまず消防局から名古屋の防火・防災について説明を受け、きめ細かな東海地震津波対策に感心しました。また、高校生の防災教育に注目しました。

●議会運営について

二元代表制の地方議会なのに、市長は自分の意思のままに動く議会を求めて何回も何回も条例案を提出、そして否決がくりかえされた経過など説明を受けました。難しい議会運営が続いているようです。最も印象的だった内容は、3月議会の一般会計予算です。河村市長提出の予算には、「保育料の増額改定」(値上げ)が入っていたそうです。「子育てするなら名古屋で」と言いながら、減税のための行財政改革の一環として保育料の値上げを行うことは、市民から反対意見も出されていたところであり、値上げを取りやめる修正が行われたとのことでした。



名古屋市会議事堂
江原議長と

松江市との交流研修会8月25日～26日

島根県松江市と宝塚市は、姉妹観光都市提携を結んでおり、観光、スポーツ、文化、教育等の幅広い分野で交流を推進しています。そのひとつが市議会交流で、今年は宝塚市議会が松江市を訪問しました。

まず松江市歴史館へ。山陰地方史の研究者である藤岡大拙館長の講演を聴きました。出雲の神話や江戸から近世の歴史ドラマに、ワクワク。続いては、吉本興業の落語家・桂三段さん。「住みます芸人」として松江に暮らして数ヶ月、その魅力を語ってくださいました。館内見学では、最新のCG映像による築城の様子や、由緒ある展示物に眼を見張りました。

夜には松江市長・副市長も出席のもと、両市の議員による市政懇談会が行われ、意見交換に花が咲きました。

視察二日目はお城を一周の堀川めぐり。武家屋敷や城壁など城下町のたたずまいを堪能しました。

「ぼたんと雲州人参の里」大根島で松江市視察を終え、帰路、鳥取県境港市の「水木しげるロード」を見学してきました。宝塚で手塚治虫記念館の活性化に繋げていきたいと思えます。

今回の研修では、歴史ある松江市に「おもてなしの心」をたくさん学ばせていただきました。

活動トピックス

宝塚FMたからづか 正副議長インタビュー録音日。

「市民に開かれた議会」のお話をしました。



08/12

川西市教育研究集会の講師として 模擬授業

08/27



みんなにわかる宇宙の不思議

ようこそ先輩「小松英一郎さん里帰り特別授業」

小松さんは、末広小学校出身。現在アメリカのテキサス大学教授兼宇宙論センター初代所長として活躍中。宇宙の年齢の決定（137億歳）や、宇宙の組成の研究に対して数々の受賞歴。西宮湯川記念賞も。20年ぶりに会った小松さんは小学校時代と変わらぬ笑顔でした。

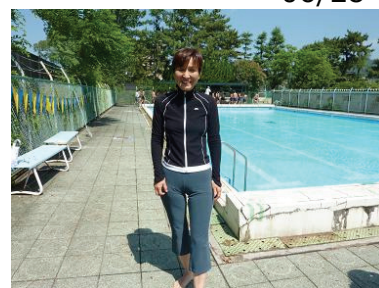
07/24



水泳授業介助ボランティア

06/28

今年は良元小と宝塚中に行きました。子どもたちとのひとときは楽しいです。



～風のココロ～

大阪府教育基本条例に異議あり

橋下徹大阪府知事ひきいる大阪維新の会提案の「大阪府教育基本条例」には政治的中立を保つべき教育への介入が堂々と謳いあげられています。競争原理だけで教育の成果をあげようとし、それができない教育委員と教職員には罷免や処分あるのみ。さらに基本理念に「〇〇できる人材を育てること」とありますが、「教育基本法」にあるように「教育は人格の完成をめざす」ものです。育てるのは「人材」ではなく「人間」なのです。

私の活動が日本教育新聞に 掲載されました 07/27

7月はじめに取材を受けた日本教育新聞。7月25日号のPTA・社会教育・民生児童委員・地方議会ページ「わがまちこの人」というコーナーで北野の記事が掲載されました。もし機会があれば読んでみてください。これからも「教育」の勉強はしっかり続けていきます。

◇発行人◇ 北野さと子

◇連絡先◇

〒665-0034 宝塚市小林2丁目 12-27-209

Tel&Fax 0797-73-4556

ホームページ <http://www.kitanosatoko.com/>